

学習のまとめをしよう

学校の勉強は、毎年の積み重ねの上に成り立っています。3学期は、学年の学習のまとめの時期であり、次の学年のゼロ学期でもあります。特に、国語と算数は、基礎が大切な教科です。教科書やドリルを復習して、もう一度、自分が苦手なところを勉強しましょう。自分一人でわからない時は、先生や友達に聞きましょう。6年生は中学校に向けて苦手を克服しておきましょう。

さて、5年生の算数を担当している大沼教諭が、子供達自身に「復習が必要と思っている単元」について、チェックをし復習する指導をしていますので紹介します。

子供達自身がチェックした結果です。

復習が必要と思っている単元 5年生3クラス85人、複数選択

1位	3	単位量あたりの大きさ	38人
2位	10	体積	35人
3位	8	分数のたし算とひき算	26人
4位	9	分数と小数・整数	18人
5位	13	比例	18人

以下略



字もていねいに

そして、大沼教諭は、一番復習が必要という回答が多かった「単位量あたりの大きさ」について、問題をとく時のかぎとなる「キーワード」について解説しています。「平均」「式には()が必要」「0も意味がある」「単位量あたりの意味」などです。

どの学年の学習内容にも、**つまづきやすい内容**があります。担任や教科担当教諭も配慮するよう指導していますが、ご家庭でも、時々、お子様のノートをばらばらとめくってみて、苦手な所、つまづいているところがないか、見ていただくようご協力をお願いします。

また、CRT検査※の個人用の結果カードを、通知表と一緒に配付しています。お子さんの学習状況のコメントが書かれています。参考にしてください。

※参考 CRT検査は、1月中旬に実施している絶対評価法に基づく標準学力検査です。全学年で国語と算数、4・5年のみ社会と理科を実施、費用は3年～5年は市負担、1, 2, 6年は保護者負担で実施しています。

30年後は小中学校が3分の1に!?



1/18のNHKテレビ夜のニュース7で、ショッキングな話題を紹介していました。30年後の小中学校数は、3分の1に激減するという推測です。東洋大の根本教授の研究結果です。現在も学校の統廃合は、全国で進んでいます。桐生でも中学校は既に行われました。ニュースの中では、東京都中野区の2つあった小学校を1つに統合した結果、「**友達が多くなって楽しい**」という子どもの声のある一方、「**子どもの声が地元から聞こえなくなって寂しい**」というある町会長さんの声を紹介していました。

広沢小は、来年も510人と、桐生市内では一番人数の多い学校です。休み時間は、外で遊ぶ元気な声が響いています。**広沢が好きになり、広沢に住みたい、広沢に戻ってきたい**という地域になるといいと思います。そのためにも、幼稚園・小学校・中学校の連携とPTAを中心とした保護者や地域の皆様のご協力ご支援をいただきまして、子供達のためにがんばっていききたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いします(幼小中合同PTA新年会においてのあいさつより)。

4年ぶりの大雪

日本列島南岸を進む低気圧の影響で、1月22日は昼過ぎから雪が降り、翌朝までに、桐生でも30cmほどの積雪となりました。本校では、通常通りの登校とし、全校の8割が徒歩で登校してきました。朝の旗振り当番や交通指導、仕事へ行く保護者の

都合も考え、道路事情で遅れた場合も遅刻扱いとはせず、安全に登校するよう、前日の13時に「ふれあいメール」を発信しました。

体育館での全校朝会后、1時間目や20分休み昼休みに雪の積もった校庭で、元気に遊ぶ子供達が見られました。「道路に雪があるから、早めに家を出る」「ころばないように歩く」など、これからも危機を予測し対応する力を身に付け、**たくましい広沢小の児童**になることを願っています。



築山もひょうたん池も真っ白



雪だるまを作ったよ



雪だるまの前で元気にポーズ

だるまちゃんシリーズ

みなさんも読んだことのある「だるまちゃんどてんぐちゃん」は、今から51年前にかこさとしさんが発表しました。92才になるかこさんは、今年1月に「だるまちゃんシリーズ」をいっきに3冊発表しました。

不自由な体ですが、がんばってかいた絵本だそうです。1/23全校朝会で、3冊の中から、沖縄をテーマにした「だるまちゃんとキジムナちゃん」を読み聴かせしました。


『かこさんは、沖縄の人達へ、敬意と応援の気持ちをこめて、この絵本をつくったそうです。92才で、絵本を3冊も完成したなんてすごいですね。みなさんも、好きなこと・得意なことを見つけて、長く続けられるといいですね。きっと大きな成果が生まれます。』

ご理解ご協力を!

「**教員の働き方改革**」で、国や県・市も動いています。本校もできるところから実践しています。本来の仕事である授業の準備や教材研究、子供達と向き合う時間の確保のために今こそ意識改革をし実行しなければ、日本の教育の未来はないといっ

ても過言ではないでしょう。そのために、保護者や地域の皆様のご理解とご協力が必要です。

特に、学校への連絡について、以下のことについてお願いします。

- 欠席等の連絡は「**欠席遅刻早退届**」による徹底をお願いします(年度始めに配布、Webページにも掲載)。電 話による欠席等の連絡は、緊急時の場合に限りらせてください。現在も、打合せの時間に、保護者からの電話連絡が入り、中断することがあります。通常のはやりとりは、担任との「**連絡帳**」をご活用ください。
- 「**ふれあいメール**」は必ず登録してください。学校からの連絡は、通知またはメールを使います。どうしても事情でメール登録ができない場合は、知り合いの人に頼むなど自己責任で情報を得るようお願いいたします。未登録者への担任からの電話連絡は、負担軽減のためなくします。スマホ等機種変更で再登録する場合、必要なら「**保護者用の登録手順書**」を配布しますので、担任に申し出てください。
- けがや病気で緊急に保護者へ連絡する場合があります。広沢小(0277-52-2028)の電話番号は、必ず登録しておいてください。

○学校への電話は、**原則夕方6時以降はお控えください**。勤務時間終了後に、残務をする職員の電話対応による負担を軽減するためです。また従来通り教員個人電話等への連絡はお控えください。

桐生市小学校バンドフェスティバル 2/10(土)

開演13時30分市民文化会館シルクホール 広沢小(22名)は、東小・北小・菱小と合同で3曲(「ありがとう」「人生のマーチング」「前前前世」)発表します。1/30の音楽集会でますます素晴らしい演奏を披露しました。

通信文責:校長 伏島均